



▲古物組合總會 四倉 警署管内二町四ヶ村の古物組合總會は十八日午前九時より同署會議室に開き終つて相屋旅館で新署長の歓迎會を開いた。

▲持節部長着任 平登 警署内勤部長持節美雄氏は十七日來任十八日から出勤した。

▲花澤君優勝

平町田調中。町平和俱樂部主催麻雀大會は十六日午後五時半から町末廣亭で舉行したが日銀町花澤雄一君が優勝した。

▲運轉手試験受験者

自動車運轉手試験は十六日から六日間福島市で執行されるが平署管内から甲種十名、乙種十八名受験する。

▲常磐炭礦況

常磐炭坑は過般の政變以來俄に活氣づき連日大口の注文殺到してゐる旨既報したが十二日現在の貯炭は無煙炭三萬二千七十噸有煙炭三萬八千六百九十餘噸合計七萬七千餘噸にしてその中自然消滅其他を控除して正味貯炭は三萬五千餘噸に過ぎず昨年同期貯炭十一萬四千噸に比較すれば實に三分の一未滿の有様なので常磐炭坑の常備貯炭十萬噸には遙かに遠く如何に炭坑界が景氣づいて來たかを十分に物語つてゐる。

▲倉谷地内に

斃死体發見

神谷村大字塩田内常磐線路に年餘十五歳前後勞働者風の斃死体あるを十六日午後十一時二十分頃機關手が發見し届け出で

つたので平署から係員出張檢視したが、身元不明なため同村役で假埋葬に附した。

▲大工斃死

石城郡四倉町磐城セメント工場大工職高木忠信(三三)は十六日午前十一時頃大浦村字岸地内でセメント工場専用軌道に轢かれ即死した原因につき所轄四ツ署で目下取調中。

▲平町人事

出生 長崎町渡部松五郎四男政務橋道小路當時郡山市原田町鈴木政務長男一

▲婚姻

二丁目長瀬元次郎(三五)神奈縣中郡大磯町野野松子(二四)死亡 胡澤澤當時東京府下原郡大森町堀軍次(六四)鎌田町猪狩喜四郎(三三)

▲鼻の薬チクノール

平五 山野邊藥局 正誤書掲載請求 貴紙昭和七年一月十七日第五三九七號第一面所載「三森氏彈劾」此ハ一記事申平町三丁目丸龜吳服店中野康平氏ニ對スル貸付金ヲ中心ニ小生ニ就キ、右貸付ニ越權ノ行為有リタルコト、理事ノ多數ガ同意見ナルコト、右ハ錯誤モ甚シク右貸付ニ當リテハ、トシテ役員會ニ諮ラザルモノナク右記事ノ出所ハ小生ニ反感ヲ有スル者ノ所爲ニシテ却ツテ平庶民ニ庫將來ノ發展ニ惡影響ヲ來スモノト思考セラレ、ニ付此全文ヲ掲ゲテ正誤相成度此段請求候也 昭和七年一月十七日 平町三丁目十四番地三森虎雄 平町紺屋町十四番地磐城時報社岡田弘成殿

風味獨得な 魚清のなべ類 例年の通り始めました。 鳥なべ 御一人前 三十五錢 ちりなべ 三十五錢 よせなべ 三十五錢 ねぎなべ 三十五錢 かきなべ 三十五錢 はもなべ 三十五錢 あんこなべ 三十五錢 出前も迅速にいたします 平町三丁目 魚清食堂 電話六三三番

油と味噌 山崎合名會社 福島縣平町 電話(營業部專用)一〇番 (一般用)四二七番 振替東京一九七五五番 明治生命 磐城代理店 山崎與三郎

開院 難波醫院 (平町大町) 電話五〇二番 醫學博士 難波睦 (入院需に應ず 自炊の便あり) 看護婦至急募集

磐城無盡 誠意堅實 許免臣大藏大

胃腸 專科 腸胃科 院醫科 腸胃科 院醫科 (七〇一話電) 町南町平

三井 許免臣大藏大 社會無信用本湯 番七四話電

革靴自製部新設 注文靴。修繕靴 親切。叮嚀。請合 高級ゴム長靴 五圓均一靴 各種靴類 マルトモビル内 菊地靴店 電話(呼)四三六

專門内科一般 内科ハ何デモ診療致マス 呼吸器病バカリデハアリマセン 平町南町六五改電話一八一番 川井内科診療所 醫學士 川井重子 女醫 川井安子

運動具と服裝!!! 榮冠輝く品質ニ 價格のフラインプレー! 平澤前 マルカ運動具部 電話三十二番

貨切御用命ハセヒ 三井自動車部へ 乗合は 好問合旨 澤渡方面行 電話六八五番